



広報名が決まりました

これまで「広報名」として寄せられた方々の、金武町児童生徒への教育に対する厚い思いに対し心強く思いました。衷心より感謝申し上げます。金武町教育委員会では教育委員等々確たる方々と数回にわたり検討してきました。

その結果、『育む・養い育てる。「羽包(くく)む」の意味から親鳥がその羽で雛をおおいつつむ』に決まりました。

その中から「羽包(くく)む」が採択され、羽を鳥の羽の絵で「くくむ」や「くくむと」組合わせて表そうというところで、四点見本を用意し、教育委員の方々と金武町教育委員全職員に

第5号

発行:金武町教育委員会
住所:〒904-1293 沖縄県国頭郡金武町字金武7758
TEL:098-968-2991
FAX:098-968-4963
E-mail:yukio_g@town.kin.okinawa.jp

その中から選んでもらいました。その結果、今回のこのような図案と柄になりました。

この題名の背景は鳥々が雄々しく羽ばたいている様を表現しています。

そして、鳥の羽が枠からはみ出ています。

これは、児童生徒たちが保護者や地域の方々から温かく包み込まれ、育まれ、そして、巣立つ、羽ばたく、飛躍する、自立する等々の意味が込められています。

今回この「広報名」決めるにあたり、「いちぢりば工房」という店で、デザインや印刷業を生業としていらっしゃる「伊芸守」さんをお願いしました。それから、「広報名」についての問い合わせ

せがしばらくはあると考えまして、作者の紹介と説明を番号にかけて載せますので、ご了承下さい。左の図案は候補に挙がっていました。これから何かに活用できればと考えています。



教育相談室より

『子どもたちはこうして生き方を学びます。』

- 批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします
- ひやかしを受けて育った子ははにかみ屋になります
- 心が寛大な人の中で育った子はがまん強くなります
- ほめられる中で育った子はいつも感謝することを知ります
- 思いやりのある中で育った子は信仰心を持ちます
- 仲間の愛の中で育った子は世間に愛を見つけます

- 敵意にみちた中で育った子はだれとでも戦います
 - ねたみを受けて育った子はいつも悪いことをしているような気持ちになります
 - はげましを受けて育った子は自信を持ちます
 - 公明正大な中で育った子は正義感を持ちます
 - 人に認めてもらえる中で育った子は自分を大事にします
- 作・ドロシー・ロー・ノルト
訳・吉永 広
- ※ドロシー・ロー・ノルト
一九二四年一月十二日生まれ。
ロサンゼルス出身。
四十代の終わりに英国国立聖職大学で博士号取得。
四十年以上にわたって家族関係についての授業や講演を行い、家庭教育や子育てコンサルタントを務めた。



町内小学校・中学校 の取組や活動

『金武中学校学校便り(雄飛)から』
環境教育が評価され県から表彰



今年の六月に、県緑化コンクールに応募し、花園づくり、木のせんだ、そして学校中の木の名前を調べて名札を付け、草刈り作業など、野球部の生徒を中心に毎日一生懸命取り組みました。

審査はグラウンド工事に行われました(グラウンドの木はすべてありませんでした)が、精一

杯頑張った事が今回評価され、十月十日の新聞で公開されました。これまでの取り組みご苦労様でした。十一月十五日に表彰予定です。(おめでとう)

「翔べ!尚巴志」 中高生ら熱演
本校高里遙くん出演(二の四)



三山を統一した琉球王尚巴志の生きざまを描いた現代版組踊「翔べ!尚巴志」が十月四日、那覇市民会館で上演されました。オーディションで選ばれた四十人の中高校生の中に、本校の高里遙くんが出演をしていました。

すごいですね。

開演までの練習はともきびしく大変だったと思います。

公演は、立ち見が出るほどの観客が詰めかけ、情感あふれる演技と歌や踊りなどの多彩な演出に割れんばかりの拍手があったということ。大成功おめでとう。高里くんは写真の右手前に写っています。

「残したい金武町の風景」

山城梨奈さん(二の三)

最優秀賞おめでとう

十月五日(火)の新聞に本校二年生の山城梨奈さんの作品



最優秀賞 山城梨奈



最優秀賞 金城由奈



最優秀賞 久高幸也

「稲作の風景」が、中学生の部最優秀賞作品として紹介されました。

出展する前に、美術の上原先生から作品を見せてもらいましたが、田植えが終わり、稲を干している風景は、とてもどこかで安すらぎを感じさせると同時に、すぐに伊藝の風景を連想させました。

作品は、十日まで、町の公民館で他の絵画や写真と一緒に展示されていたので、鑑賞した人も多いとは思いますが、作品が帰ってきたら、本人の了解を得て学校でも作品紹介したいと思

いますので、是非、みんなで鑑賞してください。

山城梨奈さんおめでとうございます。

正門前に停車

する車なくなる

十月九日(木)の公文にて、生徒の登校時の安全を考え、保護者の皆様に「登校時の正門近辺の停車遠慮」(正門から少し離れたところで子どもを降ろして歩いて登校)について協力をお願いをしたところ、現在正門前で停車をする車がなくなり、生徒達は新しく設置された歩道を通って登校するようになりました。

(気のせいかもしれませんが、全体的に早くなったように感じます。)

早速、ご協力をいただきました保護者の皆様、深く感謝申し上げます。

『金武小学校学校便り(碎啄同時)から』

細江先生講演

(東京学芸大学教授)



公開授業後にマット遊びの授業について指導助言や今後に向けてアドバイスを頂きました。

次年度より学習指導要領の改訂に伴い移行処置がとられます。そのことをふまえて「今後の体育教育のあり方」についてパ

ワーポイントを活用しながら、体育のトップの研究者からお話を聞くことができ、次年度の研究に向けて貴重な講演となりました。

した。「有り難うございました。」

【頑張りノート努力賞者】

十月二十一日現在(敬称略)

一年：仲田江梨花、寶結 菜、

安富祖理来

二年：知念春花、奥間麗夢、山

城杏奈、仲間功太、仲田

萌乃、安富貴之

三年：金城有紗、仲間彩梨、仲

間望稀、稲田優果

四年：松本恵利奈、仲間優理香、

新里優仁、比嘉咲、安富

祖柚紀、平良実咲希

五年：伊芸晴香、池原ひな、山

畑幸也、大城麻夢、金城

貴興、山川みつみ

六年：仲田彩乃、伊藝智美、新

里彩香、池原侑、幸喜千

佳乃、金城朝香

校内童話・お話大会

十月二十日(月)校内童話・

お話大会が学級・学年で選ばれてきた代表・男女が低学年・

高学年に分かれて開催されました。どの代表も学年で選ばれた

だけあって自信を持って堂々と発表できました。大勢の前で四〇五分と限られた中で練習を積み重ねてきた、声の強弱・間合い・動作をいれながら表情豊かに発表できました。緊張の中ブレッシャーを乗り越えて成し遂げたことで自信を持ち次への意欲に繋がることと思います。

特に高学年は日常生活や体験したことからの思いを作文にして発表します。聞く人も身近なこととして真剣に聴き、自分と置きかえたりしながら感じ取る



ことができました。どの発表者からも挑戦する強い気持ち、相手を思いやる温かく優しい気持ちが強ク伝わってきました。聴き終わったらみんなの心にすこいな！と同時に感動が広がったと思います。

【町童話・お話大会代表者】敬称略
 二年：奥間亮太、高江洲エミリ
 三年：仲間望稀、平安山きらり
 四年：武蔵蒼
 五年：大城優希乃
 六年：北城祐亮、幸喜千佳乃
 八名の皆さん、校内で発表したように明日の町大会では自分が練習してきたことを十分發揮して下さい。金武小のみんなが応援しています。

タイムスコンクール

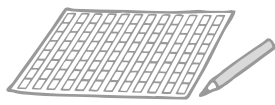
最優秀賞二名

第五十六回沖繩タイムス図画・作文・書道コンクールにおいて、作文の部で見ごと最優秀賞を兄妹^{けいまい}で獲得しました。最優秀賞の北城祐亮君（六年）、北城

妃菜さん（二年）書道の部、優良賞久高幸哉君（五年）、図画の部優良賞伊芸あやめさん（五年）おめでとうございます。

最優秀賞は県下各学年で三、四名という厳しい中での賞獲得は大きな快挙であり金武小学校の誇りとしてみんなで喜びたいと思います。（10/22タイムス朝刊）祐亮君の作文は「命のバトン」という題名で文章が掲載されています。祖母との関わりで命、家族を考えさせる素晴らしい作文です。今一度新聞を探し、読んでいただければと思います。

また、祐亮君は、町童話・お話大会の金武小代表としてこの文章をもとに話し手として挑戦することになっています。



『中川小学校便り(中川っ子)から』
 金武町特別活動
 合同研修会



十月十七日（金）に金武町特別活動合同研修会が本校で開催されました。五校時に五年生が特別活動の授業を公開した後、

低・中・高の三部会に分かれ、その後全体会という流れで、町内四校の先生方の合同研修会がありました。五年生は、

「相手の気持ちを考えて」言葉を使おう」
 言葉を通しての勉強をしました。先生のお話をしっかり聞いて、発表したり、

お互いにロールプレイングを進めたり、話し合ったりと生き生きと活動する姿を見ることができました。これからも、どんどん「ふわふわ言葉」が増えるといいですね



校内童話お話大会

※低学年の部

一年 やましろ じょう

二年 花城 翼

○三年 玉那覇 誓偲

一年 なみさととも

二年 比嘉 萌

○三年 山城 井来

※高学年の部

○四年 花城 翔五



- 五年 知名 碧海
- 六年 崎浜 秀一
- 四年 小橋川 佳連
- 五年 山内 菜奈
- 六年 福田 みづき

(○は学校代表)



テレビを消して
みませんか？

『嘉雲小学校便り(嘉雲っ子)から』

灯火親しむ候となりました。

十四日から、読書月間が始まりました。期間中、いろいろな催しが図書館より案内されております。

「私たちは、体験を通してものごとを学び、感情や感覚を豊かにしていきます。とりわけ成長期の子どもにとって、これは大切な事です。ただし、ひとりの体験に限度のあることはいまでもありません。

そこで、私たちは、本を読み、さまざまな人間体験を間接的に自分のものとしていきます。

子どもたちは、読書によって、これまでしかなかった世界に目をひらきます。人間として必要な知識、感情、感覚をいっそうゆたかにします。人間一生のうち、もっとも語彙(ことば)を豊富にするのは十歳〜十五、六

歳といわれているくらいです。そのためにも、幼児期から本にしたいませねばなりません。」

《児童文学者：

来栖良夫氏の言葉から》

物事を考える時、行動を起こす時、その基盤となる「ことばの数値」。三つのことばを覚えたら、三つの言葉の範囲内で物事を考え、行動を起こします。では、十の、千の言葉を覚えたら？ より考えが深まり、言動は確かで豊かなものと成ることでしょう。読書は、その力をつける基礎の基礎です。

私たち、教師(大人)は、どの子にも豊かな人生を送って欲しいと、生きてはたらく確実な「生きる力」を身につけさせることを宿願として、日々、読書に親しむよう指導活動を行っております。

お父さん、お母さん、どうぞ、ご家庭でもテレビをけしてお子さんと豊かな「読書タイム」を味わってみませんか？

終戦の二年後の一九四七(昭和二十二年)、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒に、第一回「読書週間」が開かれました。

第一回「読書週間」は十一月十七日から二十三日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が十一月十六日から一週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。いまの十月二十七日から十一月九日(文化の日をはさんで二週間)になったのは、第二回からです。それから六十年が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。

(社団法人 読書推進運動協議会)

読書大好き!!を 培って下さっている方々です

- 伊芸 貴子様
- 伊波 美和子様
- 上原 京子様
- 金城 久美様
- 島袋 美希様
- 山城 幸代様
- 島袋 小枝様
- 安富祖 かの子様
- 新島 悦子様
- 山城 小百合様
- 安里 恵美子様
- 高江洲 末子様

朝のお忙しい時間に
毎週、月曜朝の読み聞かせ
ありがとうございます



嘉芸っ子大活躍

☆【おめでとう!!】☆

第48回国頭地区児童生徒科学賞作品展
(銅賞) (9/14)

3年	池原 千波	ペットボトルサイレン
3年	仲間 海理	(パイナップルの研究)
4年	安里 花楓 與那嶺 舞菜 吉里 滯	オリジナルアロエ化粧水 (共同3人)
4年	山城 美咲 比嘉 美里	ばんそうするソーラー (共同2人)
4年	手登根 みゆり	シャボン玉の実験
4年	松田 亜矢加	大きな結晶とちいさな 結晶のできる時間
4年	石川 真央	花の種について
4年	大川 李来 石川 望穂	私のお父さんのお米の 仕組み (共同2人)
5年	赤山 日菜乃	雲の形について
6年	小波津 雄大	氷の溶け方

福井県学校訪問 視察研修報告Ⅲ

三日目：早朝に越前市教育委員会を訪ねました。



越前市教育委員会からの説明
について、箇条書きで述べたい
と思います。

○各学校においては、躰、授業
の姿勢、返事や声の大きさ等
を大切にします。話し合いの
ルール等々について、共通の
指導徹底事項として取り組ん
でいる。

○中学校ではチャイムで始業が

できるように、生徒、教師と
も取り組んでいる。

○小テスト、ミニテスト、漢字
テスト、計算コンクール等々
基礎学力を上げるための取組
をしている。

○帰りの会でスピーチ(事前に
テーマを知らせ)の実施。人
前で堂々と発言できるように
するためである。

(自分の考えを書かせている
学校もある)

○越前市の子は人前で堂々と発
言できるのは三割程度

○中学校では業者テスト(進路
に向けて個人のデータが詳細
にでる)を保護者負担で実施
している。

○小学校では学習で遅れ気味の
児童の補習を大休みや昼休み
に行っている。

○中学校では夏休み中、部活動
前の午前中、勉強会を開いて
いる。

○学力向上に向けて、年一回校
内で授業研修を行っている。

○家庭の協力を得て、家庭学習の時間各学年に応じた時間の目標設定、テレビルール等の設定等々、生活習慣に関する徹底を図っている。

○越前市は三世帯所帯の割合が高いので、保護者が学校学習支援に関わる活動が充実している。祖父母がその間、留守を預かる等、学校への協力体制が万全である。

三世帯所帯の割合がそれ程高くない金武町の場合、越前市のような協力体制を築くのは容易なことではないと思います。

それでも、家庭学習の各学年に応じた時間の目標を設定する。テレビルールを決める等の生活習慣に関することを、家庭の協力を得て築くことはできると思っています。

一方、各学校においては、躰授業の姿勢、返事や声の大きさ等を大切にする。話し合いのルール等々について、共通の指導徹底事項として取り組んで

いって欲しいと思います。

金武中学校は、町内三校から集まります。それぞれの学校には地域性や特色があり、児童は中学校に期待や不安を抱き、それぞれで思いで入学すると思いますが、お互いがわかまわりを持たず、中学校生活が送れるようにするためにも、必要な共通指導事項だと思えます。

授業において、共通のルールの基に授業に臨んでいるのであれば、違和感を感じず安心して授業に臨めると思えます。

先日の、金武町校長研修会で前述のような内容をお願いしてあります。

特別な工夫や改善を試行錯誤するのも大切な取組ですが、それと併せて、基本的な事を習慣化させる、徹底させる事が肝要だと考えています。

「先輩から後輩へ」

「校門から我が家まで」



國學院大學文学部卒業

前川邦明

私が金武小学校で学んだのは、昭和二十七年からの六年間です。今、そのころに時計の針を戻して、私は皆さんを、金武小学校

正門から我が家まで、ご案内してみたいと思います。

正門からバス通りへは、木麻^{モクマ}黄^{オウ}(現在は桜?)並木でした。並木はバス通りに突き当たります。左側に「糸満屋」、右側に「文化堂」があります。糸満屋は、金武で一、二の繁盛店。文化堂

は新刊雑誌が買える、いわば金武の最新情報スポットでした。

我が家へは、その文化堂の前を中川方向に歩きます。途中、右手に郵便局、製パン店、風呂

屋、映画館と続きました。

映画館は「金武文化劇場」。バス通りから急な坂を下ったところにあり、主として東映と日活の映画を上映していました。

私の家は、文化劇場の前から左へ、当山久三翁の銅像方向に歩きます。まず、左角に「金城写真館」がありました。ここは、女子学生のたまり場でした。その次が伊芸吉郎宅、仲間宅と続き、三軒目が私の家です。

「校門から我が家まで」。実はこれは、学級担任のとき、私が生徒に書かせた作文の題目です。なんのためかという、家庭訪問のためです。私は生徒の家に行くのに、地図ではなく、文章を書かせました。自分の言葉で間違いなく担任を自分の家まで案内させるのです。

金武小学校の後輩の皆さん。皆さんも「校門から我が家まで」を書いてみませんか。私が皆さんを道案内したように、今度は皆さんが私を、家まで案内して

ください。

難しいことは、何もいりません。ただ、私が迷わないように、目印をしっかりと入れてください。たとえば、郵便局、商店、バス停などです。え、好きな子の家？ うーん、マ、いいでしょう、書いてください。

こうやって、私が皆さんの家にとどり着いたとします。出てきたおじいちゃん、おばあちゃんが私の同級生だったら、びっくりするだろうな。私は、こう言ってやりますよ。「お孫さんのおかげで、君の家に来れたよ」と。

〈略歴〉

昭和二十（一九四五）年金武町生まれ。國學院大學文学部卒業。都立高校教諭として青山高校（定時制）などに二十五年勤務。現在は清水書院辞書編集委員のほか、エッセイを書いている。

平成二十一年度

沖縄県立 名護養護学校

【幼稚園部募集概要】

一、教育目標

- ① 明るく元気な子
- ② 自分でできることは自分でする子
- ③ みんなと一緒に遊べる子

二、教育内容

○ 幼稚部教育課程の基本方針を踏まえ、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」及び「自立活動」の六領域を相互に関連させながら指導します。

○ 幼稚部教育においては、一日の流れを一つの生活のまとまりとして遊びを中心に

様々な活動を通して、総合的な指導を行えるように毎日の保育を展開しています。

三、募集定員

五名

四、対象幼児

○ 平成二十一年三月三十一日

までに満年齢が三歳、四歳、

五歳に達する幼児

○ 知的発達に遅れがある子

五、入学願書受付期間

平成二十一年二月九日（月）
午前九時～午後五時
平成二十一年二月十日（火）
午前九時～午後四時

六、入試説明会

日時：平成二十年十二月十二日
午後二時から

七、問い合わせ先

場所：沖縄県立名護養護学校
沖縄県立名護養護学校幼稚部
電話：

○ 九八〇―五二―〇五〇五
ファックス：
○ 九八〇―五四―一四八六



平成二十一年度

金武町立 幼稚園園児

募集について

金武町教育委員会では

来年度町立幼稚園園児を

募集します

一 対象園児

- ・ 金武町内に住所を有する者
- ・ 平成十五年四月二日～平成十六年四月一日までに生まれた者（満五歳児）

二 受付日時

・ 金武幼稚園
平成二十年十二月十一・十二日（木・金）午後二時～五時まで

・ 中川幼稚園

平成二十年十二月十一日（木）午後三時～五時まで

・ 嘉芸幼稚園

平成二十年十二月十一日（木）午後三時～五時まで

三 受付場所

・ 各幼稚園

（小学校の校区と同じ）

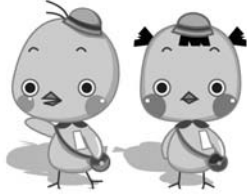
四 当日持参すべき物

- ・入園願書
 - ・住民票抄本
 - ・新学期用品注文書
- (尚、町内の対象園児には願書等書類は既に送付済みです)

(注意)

※受付当日は、保護者と園児を含めた面接を行いますので園児と共に、各幼稚園にお出かけ下さい。

※入園手続き等について、疑問・質問等が御座いましたら、各幼稚園または金武町教育委員会までお問い合わせ下さい。



「金武中学校」

グラウンドスタンド・部室・屋外トイレ・校門の建設工事完了
(平成二十年十月)



体育館部活動の環境整備を目的に屋外トイレや部室等を建設しました。部活動部室は各部が活用できるように整備しました。



金武中学校外壁

塗装工事(平成二十年十月)
築二十五年余経過した校舎の外壁はところどころ黒ずみがありました。塗装をしたことにより学校施設が明るくなり、学習環境がいっそう良くなり、生徒の学習意欲が湧くよう期待します。





照明設備建設工事完了

(平成二十年九月)

グラウンドの証明設備も新たに設置し、地域活動等でおおいに活用できる施設になりました。必要に応じて部活動でも使用することになります。

第45回国頭郡陸上競技大会

十月十九日、国頭村陸上競技場で、第四五回国頭郡陸上競技大会が行われました。

金武町からも選手団が派遣され、フィールドの部で、一般男子円盤投、ハンマー投で岡村拓歩さん、三十代走幅跳で仲間功さん、四十代走高跳で池原博章さん、トラックの部で、四十代八〇〇mで前泊万寿夫さん、また一般女子二〇〇mで仲間理沙さんが見事優勝に輝いています。なお、金武町は総合八位となっております。優勝された選手の皆さんは十一月二日から開催される、沖縄県民体育大会へ国頭郡代表として出場します。



一般男子ハンマー投・円盤投で優勝した岡村拓歩さん



30代男子走り幅跳優勝した仲間功さん

第四十三回金武町

バレーボール選手権大会

十月二十六日、金武町立体育館で、金武町バレーボール選手権大会が行われました。

大会には男子の部に五チーム、女子の部に三チームが参加。男子の部では、圧倒的な強さで勝ち上がったきた金武町バレー同好会と、KVCが対戦し、セツトカウント二一〇で金武町バレー同好会が優勝をかざりました。女子の部ではSOLA沖縄チームが優勝に輝きました。



▲女子の部優勝 SOLA沖縄



男子の部優勝 金武町バレー同好会

「モノ」にみる暮らしの風景

ミニチフ

耳壺の意味。一般に豚の脂身からとった脂(ラード)を保存するために使われていた事からアンダーガミとも呼ばれます。

一頭の豚は余す所なく使われます。つぶした豚から取った脂はこの壺に貯えられ、汗物や炒め物などに欠かせない調味料として大切に使われました。肩部に付く四つの耳は蟻がつかないように紐を通して吊るすためのもの。台所に吊るされた光景を懐かしく思い出される方も多いのでは。



学校給食について

『交流給食』

さる十月十六日（木）に嘉芸小学校の「元気亭」で二・四・六年の三学年で交流給食が行われました。

この日は、教育委員の方々と教育委員会の先生方も児童の中に入って食事をとりました。食の安全や、食育、給食費の



未納等々、多くの方々が学校給食に関心を寄せている昨今、いろいろな課題や問題を抱えている金武町の学校給食を、一気に

解決出来ることではないと思いますが、まずは「学校現場に行って児童と一緒に給食をとってみよう」「見聞してみよう」と嘉芸小学校に行ってきました。昭和二十九年に「学校給食法」が制定されました。

この法律の目的に、学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資し（役立てる意味）かつ、国民の食生活の改善に寄与する（役に立つ事を行うの意味）とあります。

山形県から始まったと言われる学校給食は百年以上の歴史を持つていますが、歴史的な背景によって、学校給食の成り立ちや意義は変わってきています。

終戦直後食糧難であった日本では、アメリカの余剰農作物をありがたくいただき、栄養バランス等を考えず腹を満たすだけで良しとしていたのです。

当時の小学六年生は、現在の小学四年生くらいの体格しかなかったようです。学校給食法制

定後は、食事についての正しい理解や望ましい習慣を育む等、学校給食の果たす役割が大きくなってきたのです。

給食の準備、配膳、「いただきます」「食事中の団欒（だんらん）」、「ごちそうさま」片づけ、清掃等々学校給食という一連の活動の中で、手伝う、食器の配置や配膳の仕方、食事中の楽しい団欒を保つための礼儀や作法に気をつけるあるいは身に付ける等々が育まれるのです。

ただ現実には、早く食べるのを競いのに詰まらせる、食品への毒物混入等、食の安全や管理、朝食抜きの栄養不足による学業の能力や集中力の低下や成長期の児童生徒に与える様々な影響、偏った食事によって好き嫌いが多く等々いろいろ抱える問題や課題も多いのです。

とりわけ、金武町の場合は給食費未納の割合が多いという点です。給食費を払っていないご家庭、払っていないご家庭がい

るこの現状、児童生徒にはどのようなに説明しているのでしょうか、児童生徒はこの現状をどう捉えているのでしょうか大変気になるところです。学校給食が安定した運営ができるようにするために、保護者としても協力して欲しいものです。

食生活のおもしろい話

朝食用のレシピ（簡単に作れて、栄養価の高い料理）を学校で各家庭に配りました。半信半疑ながらも、簡単に作れた料理を子どもに食べさせたところ朝食を抜きがちで食欲がなかった子どもは、のどを通りやすい料理を食すようになり、脳が活性化されたのでしよう、今までより授業に集中し、興味を示せるようになり、学習意欲が現れ、これ本当の話、クラスの成績がアップしたそうです。これはテレビでの話ですが、家族円満にも一役果たせたのではないのでしょうか。



団体紹介コーナー

金武町公民館連絡協議会

会長 渡慶次 賀 佑

組織は、中央公民館を含めた五ヶ字に設置している地区公民館で構成している。

目的は、各地区公民館が連携を密にし、社会教育の振興を図り、地域文化の発展に寄与するという事になっていきます。

日常的な生涯学習は、各地区公民館の独自性を活かし、区民を対象に生活文化の高揚、自己研鑽等の場として活動を推進していますが、当会は、各地区公民館が連携し、町民を対象に年四〜五回程度、事業を実施しています。昨年は、生涯学習の充実を図る目的で、公民館職員の研修、町民対象に平和学習（戦跡めぐり）、や

んぼるの酒造所巡り、ナイトウォーク、子ども達を対象に沖縄こどもの国で動物の飼育体験事業を実施いたしました。いずれの事業も参加者から「個人では出来なかった素晴らしい事業を実施した」と賞賛を頂きました。

今後も連携して、生涯学習の推進と町民が学習する場を企画してまいります。



飛んだ 飛んだ!

ぬちぐあいフェスタ・まーさおんフェア

【金武町（健康福祉まつり・中央公民館まつり・産業まつり）】

日時：平成20年12月7日（日）午前10時～

場所：金武町立中央公民館・町営グラウンド ほか

内容：ニュースポーツ紹介、公民館発表、健康応援プログラム、特産品試食・即売会
福祉、教育、産業がひとつになって、「町民の元気」を応援するお祭りです。みんなで遊びにきてね。

<お問い合わせはお気軽に>

福祉まつり実行委員会：968-5932 産業まつり実行委員会：968-2645 中央公民館：968-2992

編集後記

教育委員会「広報名」がやっと決定し、ホッとしているところでございます。

金武町の宝である児童生徒を「みんなで包み、育て、将来に期待し、温かく見守ろう」という気持ちを持て、よく表しているのではないかと思います。

それと、何かで使いたいと思っっている図案（左図）について説明したいと思います。



これは、漢字の羽を模っています。親鳥が巣の雛を温かく包む様で、巣立つ前の幼児を育むというたとえで、いろんな場面で活用できればと思っています。